

【まるごと室戸を味わおう！！について】

知事： 皆さん、発表をありがとうございました。

さっき、私もお話したんですけど、人口減少の問題。室戸市が3万2000人いた人口が、1万7000人まで人が減っていますよね。その中でも特に室戸の産業の中心である一次産業の人口から減っているのが問題だということですよ。

さっき話をした産業振興計画というのでも、一次産業をもっと元気にして、それにあわせて加工品を作っていこうと取り組みを進めているところです。

高知県の園芸農業の、土地当たりの生産性というのは、全国でもずば抜けて高い1番です。しかし、その高知県の農業でとれる金額は全国で今、どれくらいの位置にあるかという、なかなか厳しいものがあります。

高知県の農業の生産額は、全国第34番です。30位にも入ってない。だけど、土地当たりとれる野菜の量というのは全国で1番。結局どういうことかという、土地が狭いので全体として採れる量は、それほどじゃないんです。

そういう中で、土地が広い県との競争で苦戦をしています。

野菜が今、全国で一番採れているのは、千葉県です。その次が茨城県。それから長野、北海道、埼玉県という順番です。結局、都会に近いところなんです。

都会は工業で、田舎は一次産業だと思うでしょう。しかし、今の時代は農業、一次産業も都会のほうが元気が出て来ている。そういう状況の中で、どうやって高知県の一次産業を元気にしていくかということを、これから皆さんのような若い世代の方々にも一緒に考えてもらうことが、是非とも重要だと思います。

一次産業が大事だから、とにかく一次産業の振興をしようということですが、では、どうやるのかという話の時に、他の県でも珍しい、スジアオノリの陸上養殖とか、また、それを使って特徴のある加工品を作ろうというふうに知恵を使うという方向性は、重要だと思います。要するに、「キャラがたって」ないとはいけません。当たり前の事をしていただけでは、土地が広く、東京のような大市場に近い県に負けてしまいます。勝つためには、いかに「キャラをたたせる」か、知恵を練るかが求められていると思います。その点で、さきほどの発表は本当に素晴らしいと思います。是非、いろんな知恵を練ってください。

さっき、木を加工しておもちゃにしたらという話をしました。けれど、単に木を加工しておもちゃにするだけではいけません。室戸には、炭を作る伝統がありますよね。室戸でできる炭は、日本の中でも最高峰の技術を持つ炭なんです。同じ木を使って炭を作っても、他の炭とは違う。ずば抜けて優れた品質を持っています。だから、日本の全国でいろんな方から支持され、買いたいという人がいるわけです。

室戸ジオパークの取り組みは、世界のジオパークになれば、確かに世界の中でも、際立ったすごいことになります。しかし、他の県にもジオパークはあります。室戸のジオパークが他のジオパークと違って際立ってすごいと、一言で表現できる事が重要

だと思っんです。室戸のジオパークが、他のジオパークよりもキャラがたっているものにするために、どうすればいいかということを考えてもらいたいと思います。

それから、プレートテクトニクス（地球の表面が何枚かの固い岩板（プレート）で構成されており、このプレートが互いに動いているという考え方）の動きを、初めて地上で確認することができたのが室戸のジオパークです。プレートテクトニクスの動きで地球上に陸地が新しく生まれてくる姿を見ることができるのは、他のジオパークとは、規模の大きさが違います。

どうやって他のジオパークと違うキャラクターがたてられるか。そこのところの勝負だというふうに思っています。